

令和5年6月21日

## 2019年度の岩木健康増進プロジェクト健診へご参加いただいた皆様へのお知らせ

日頃より弘前大学 COI 拠点事業へご協力いただき、大変ありがとうございます。

このお願いは 2019 年度の岩木健康増進プロジェクト健診へご参加いただいた皆様へご案内しております。

弘前大学 COI 拠点ではこれまで皆様からいただいた検体を用いて、認知症・生活習慣病などの予兆と予防の研究をさせていただいております。医薬基盤・健康・栄養研究所との共同研究により健診で採取した糞便検体を用いて詳細な解析（メタゲノム解析；後述）を、腸内細菌と健康状態との関係をより詳細に明らかにする目的で、2020年10月から2023年6月末までの予定で実施させていただいております。この度、研究期間を2025年6月末まで延長、研究代表者を変更、内容の一部を追加・修正しましたのでお知らせいたします。

個人情報はいままで同様弘前大学において厳重に管理しますので、この研究への利用により皆様が不利益になるようなことはございません。

今回の件について、ご不明の点、ご相談、クレームなどがある場合は下記の連絡先までご連絡下さい。

詳しい説明につきましては、次項を御覧ください。

### 【お問合せ先】

弘前大学大学院医学研究科  
特任教授 中路重之  
住所：〒036-8562 弘前市在府町5  
電話：0172-39-5443

前回の文書（研究についての説明）はこちらをご参照ください。

前回との変更点は以下の下線部分となります。

1. 今回、医薬基盤・健康・栄養研究所（研究責任者：南里妃名子）との共同研究で行うメタゲノム解析は私どもの腸内に存在する細菌（腸内細菌）の遺伝子をひとまとめに網羅的に解析する方法です。これにより、腸内細菌の全容が明らかになり、腸内細菌が私どもの健康に及ぼす影響が明らかになります。
2. 利用する検体およびデータ：新たに検体採取などのご協力をお願いすることはありません。現在弘前大学に保管されている2019年度に採取した糞便由来の腸内細菌叢のDNAを遺伝子配列解析業者に委託して遺伝子配列を解読します。その結果を医薬基盤・健康・栄養研究所に送付して腸内細菌叢の特徴の解析を実施します。
3. さらに腸内細菌叢と健康状態との関係を調べるため、岩木健診で得られた主な健康情報データ（身体特性、食事、生活習慣、罹患状況など）を医薬基盤・健康・栄養研究所へ送付します。これらのデータを、医薬基盤・健康・栄養研究所が作成しているデータベース NIBIOHN JMD\*に腸内細菌叢データとともに保管し、解析します
4. 腸内細菌遺伝子配列データと腸内細菌叢データは弘前大学にも送付され、保管されます。皆様のデータは、個人情報管理責任者である弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス研究センター 医療データ解析学講座 教授 玉田嘉紀が責任をもって管理します。データには個人情報管理責任者により照合のための番号が付与され、個人情報が削除された匿名化データが共同研究機関を含む学内外の共同研究者に提供されます。
5. データベース化した情報のうち、年齢、性別、居住地、サンプル採取月からなる基本情報、質問票等による食事調査の情報ならびにそこから計算された摂取栄養素の情報、試料（便、唾液、皮膚）中の微生物叢、微生物遺伝子の存在量のデータ、および論文等で公開済みの情報は、公開されだれでも閲覧可能となります。なお、個人が特定されないようにするため、年齢は同一研究、同一性別の中で5人以上となるようにグループ化し、その年齢範囲が公開されます。また、居住地としてサンプル採取地の市区町村名が公開されます。

\*NIBIOHN JMD データベース URL : <https://microbiome.nibiohn.go.jp/>